

池田真理子

衆院東京20区予定候補 (比例重複)

いけだ まりこ



日本共産党

自公政治を終わらせ「国民が主人公」の政治へ
今こそ日本共産党です

- プロフィール—
- 日本共産党東京都常任委員、20区国政相談室長
- 1954年生まれ ●静岡大学卒業
- 東久留米市在住、家族は夫と長男

お気軽に、ご意見、ご相談などをお寄せください



ホームページ
池田真理子 検索

事務所 東村山市栄町 2-21-26
TEL. 042 (395) 1269 FAX. 042 (395) 1270

北多摩民報 日本共産党北多摩北部地区委員会の見解を紹介します。
2009年9月号外 発行所・武蔵村山市緑が丘 1460-12-310

仕事もくらしも、将来にも、不安が広がっています。自公政権は終わらせ、「国民が主人公」の新しい政治へとときりかえましょう。

私は、国政に挑戦し始めて10年になります。地域で活動しながら、政府交渉を重ねてきました。政治を変える力は、国民の中にこそあると、学んできました。

私は、みなさんと力を合わせ、くらしを守り、憲法を生かす政治をめざします。



一步でも役立ちたい

—池田真理子の原点です—

大学時代に、学費値上げ反対や小選挙区制導入反対の運動のなかで、日本共産党に入党。卒業後は、決まっていた教師への道ではなく、民主青年同盟の専従職員の道を選びました。両親は猛反対で、家出同然の出発でした。

その時に私が両親あてに出した手紙を、両親は20数年間大切に保管してくれました。二人が亡くなった後、「よりよい社会のために、一步でも役立ちたい」と書かれた私の手紙を見つけた時、いつしか私を理解し応援してくれていた両親が、私の初心を守ってくれていたと思いました。

憲法9条のバトンを、子どもたちの世代へ

—池田真理子の決意です—

私は、両親の世代から、戦争と広島・長崎の体験を学び、「二度とくりかえしてはいけない」という思いを受け継ぎました。

いま世界は大きく変わっています。戦争や武力ではなく、国際紛争は話し合いで解決するという憲法9条が生きる時代になっています。

米オバマ大統領が、「核兵器のない世界」をめざすことを言明。東南アジアや中南米で、平和の共同体や自主的国づくりが広がっています。日本の相次ぐ海外派兵や憲法改悪への動きは、世界の流れに逆行するものです。

私は、子どもたちの世代に、憲法9条のバトンを引き継ぎ、軍事同盟をやめ、自主的な平和外交の国へと、きりかえたいと思います。



日本共産党 衆議院比例 東京ブロック予定候補



前衆議院議員 笠井 亮 党・都国政相談室長 池田真理子 医師 谷川智行 党・都委員会副委員長 徳留道信

比例代表は日本共産党へ

—制度解説—
「政党名」で投票してください
「候補者名」で投票してください
(候補者名を書くは無効になります)



力を合わせてくらしと仕事とをいのちとして憲法を守ります

日本共産党 池田真理子

○雇用破壊ストップ、人間らしく働けるルールを

派遣法の抜本改正、失業者の生活と再就職支援、サービス残業根絶、最低賃金を1000円以上に引き上げ。

○75歳以上の医療費無料化、安心の年金、介護

後期高齢者医療制度廃止、国保料1万円引き下げ。障害者自立支援法は廃止し、総合的福祉制度へ。

○教育費の負担軽減、安心の子育て支援

高校授業料の無償化と大学学費の軽減、就学援助の拡充、1クラス30人以下に。認可保育所の増設。

○消費税増税ストップ、食料品は非課税に

大企業・大資産家に応分の負担を求め、軍事費や大型開発のムダをはぶき、財源を確保します。

○地球温暖化阻止へ、中期目標30%をかせげ、実行

池田真理子を国会で働かせてください



マニフェスト(総選挙公約)は日本共産党ホームページをご覧ください。

都立清瀬小児病院の存続や75歳以上の医療費無料化は、切実な要求です。自民・公明政府が、医療費削減を目的に、国立病院の統廃合を促進しているのは許せません。地域の小児・産科医療・救急外来の充実へと転換させます。地域経済をになっている中小企業と農家が、苦境にあえいでいます。都市農業の振興へ、党派を超えた共同が必要です。公共事業は地域密着型にきりかえ、地元発注を重視し、公契約法を実現します。

地域医療と地域経済を、発展させます

日本共産党と池田真理子は、新しい政権のもとで、建設的野党として、「良いものには賛成、悪いものにはきっぱりと反対」し、政治を一步でも前に進めるためがんばります。大企業・財界中心、軍事優先の政治を、国民が主人公の政治にきりかえる方針をもつ日本共産党だからこそ、国民の立場に立った仕事ができます。

自公政治にレッドカード、新しい政治へ
若者が非正規労働で使い捨てられ、社会保障制度が弱い人をしめ出す…。人間の尊厳をふみにじり、貧困と格差を広げた「構造改革」政治は、間違っています。「自民・公明政治はもういやだ」。国民の大きな声です。総選挙の審判で、自公政権を終わらせ、新しい政治への扉を開きましょう。



国政をめざして10年——国民の声が政治を動かすと実感

都市農業と食を考えるつどいを開催



イオン出店反対で公述人として発言



小児医療充実で厚労省申し入れ



学費軽減求める文部省交渉



派遣切りを許すなど東京労働局への申し入れ



自衛隊ヘリ騒音防止へ防衛省に申し入れ



障害者自立支援法撤回をもとめる



後期高齢者医療制度廃止署名を国会に



訪問や懇談などで、たくさんの声を聞いてきました。その声をもとに、政府交渉を重ねてきました。あきらめない声と運動が、政治を確実に動かしていると実感しています。